

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（第2回）

会議議事録

1. 開催日時

2023年（令和5年）12月27日（水） 11:00～11:30

2. 開催場所

大阪市役所 P1階（屋上）会議室

3. 出席者

別紙出席者名簿

4. 次第

（1）企業への働きかけについて ……資料1-1～4

（2）先導的取組について ……資料2-1～3

5. 配布資料

- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・設置要綱
- ・資料1-1：企業への働きかけについて
- ・資料1-2：企業向けリーフレット
- ・資料1-3：今後の進め方
- ・資料1-4：大阪府・大阪市の取組
- ・資料2-1～3：先導的取組について

6. 会議要旨

- ・企業への働きかけについて
- ・先導的取組について
 - 事務局、先導的取組発表者より資料の説明。
 - 会長、会長代行、副会長、委員、協力委員から、発言。

7. 会議議事

(事務局 彌園局長)

ただ今から、「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（第2回）」を開催いたします。

本日は、年末のお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。本日、司会進行を務めさせていただきます、大阪府・大阪市万博推進局の彌園でございます。

それでは、開会にあたりまして、本会議の会長であります吉村知事よりご挨拶を申し上げます。

(吉村会長)

会長として一言ご挨拶申し上げます。

丁度1年前の今日、この会議が立ち上がり、その後、実務者会議も実施しました。「働きかけTDM」は、円滑な万博の来場者輸送と都市活動の両立をも目指すものであり、いかに企業の皆さん、あるいは府民市民の皆さんにご理解をいただけるかということが非常に重要といったコメントをさせていただきました。

現在、開幕まで500日を切り、本日時点で472日となっています。より具体的な発信を行っていくフェーズに移ってきたと感じています。

そのような中、本日は、日立造船(株)さん、ミズノ(株)さん、(株)ロイヤルホテルさんから、万博におけるTDMの取り組みについてご説明いただけるとのことであり、大阪の企業の皆さんの協力を先導いただける大きな原動力になるものと大いに期待するとともに感謝しています。

また、これら企業の取り組みを促進するための仕組みづくりや、大阪府・市が検討を進めている取り組みについても、後ほど、事務方から概要を示させていただきます。

今後、万博TDMの理解促進に向けて、この円滑化推進会議の役割が非常に重要になってくると思っており、このメンバーで連携して、積極的な情報発信を行っていきたいので、よろしくお願いたします。

(事務局 彌園局長)

ありがとうございました。

出席者の紹介は配布の名簿の確認で代えさせていただきます。

また、設置要綱につきましても、第5条第2項及び第7条における博覧会協会の組織名が「日本国際博覧会協会運営事業局」が「日本国際博覧会協会交通局」に変更しておりますので、ご確認ください。

それでは、次第に従いまして議事を進めさせていただきます。

まずは、1つ目の議題「企業への働きかけについて」万博推進局理事の尾植よりご説明させていただきます。

(1) 企業への働きかけについて

(事務局 尾植理事)

大阪府・大阪市万博推進局理事の尾植でございます。

昨年12月にこの交通円滑化推進会議が立ち上がった以降、幹事会を5回開催し、TDMの具体的内容について検討を進めてまいりました。企業へのヒアリングや説明会でいただいたご意見など企業側のニーズを踏まえながら議論を行ってまいりました。本日は企業への働きかけの内容について、資料に沿って、ご説明させていただきます。

お手もとの、資料1-1をご覧ください。

赤枠内1点目の「働きかけTDMに向けたリーフレットを用いた広報」ですが、TDMをご存じない方にその内容や必要性を知っていただく、また交通状況をよりご理解いただくことを狙いとして、企業の皆様向けのリーフレットを取りまとめたところです。

リーフレットの内容については、後ほど、あらためてご説明いたします。

2点目として、「TDMパートナー登録制度の創設」ですが、これは、ご協力いただける企業を増やしていくための仕組みを構築するものです。

具体には、WEB上で登録いただき、万博開催時の交通情報や他の企業の取り組みなどをメールマガジン形式で配信させていただくほか、登録証の発行、事務局HPでの企業名・企業HPのURLの公表などを行っていきたいと考えています。来年2月頃を目途に、登録開始ができるよう準備を進めているところです。

3点目として、「TDMの試行実施」ですが、2025年の万博本番時に最も混雑すると想定される会期の終盤をとらえて、その1年前となります来年9月から10月ごろの実施を考えています。

この試行によって、TDMの実現性を確認したいと考えており、実施に向け引き続き幹事会で議論を深めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、資料1-1の裏面をご覧ください。

今後の進め方ですが、開催1年前となる来年3から4月ごろには「実施方針」を公表し、8月には「試行計画」の公表、開催100日前ごろとなる来年末から、企業以外にも府民・市民ほかの皆さんへの呼びかけを、開始してまいりたいと考えています。

次に、資料1-2をご覧ください。先ほどのリーフレットですが、要点を絞ってご説明いたします。

1ページでは、万博期間中の来場者は多い時には1日あたり約22.7万人と想定しており、会場や主要駅の周辺では、来場者の万博交通と通勤等の一般交通が集中し混雑が想定されます。こうなると企業活動等に影響を与えてしまう恐れがありますので、あらかじめ準備し取り組みを行っていただくことで、企業活動等への影響を最小限に抑えることを示しています。

2ページでは来場者輸送計画の全体像を、3ページでは万博期間中の会場の混雑予測を示しております。特に、会期終盤の10月の2週間は非常に混雑が予測され、1日あたりの来場は午前中に約7割が集中すると考えています。

4ページ、5ページは鉄道や道路の混雑予測ですが、4ページの鉄道では地下鉄中央線の弁天

町～朝潮橋駅間の朝のピーク時の混雑率が、現在 70%のところ、万博時に何も取り組みを行わない場合には 140%程度になると予測しています。

6 ページでは、企業の皆様にご協力いただきたい取り組み内容の事例(テレワークや時差出勤、通勤経路の変更など)を示しています。

7 ページですが、「エリアや期間によるメリハリ付け」としまして、混雑が予測される会場周辺や地下鉄中央線の沿線を「重点エリア」として、また、駅シャトルバスが発着する主要駅周辺を「主要エリア」として、その他のエリアも含めて、各エリアの特性に応じて呼びかけや取り組みの内容・実施期間にメリハリを付けることとしております。

今後は、このリーフレットを適宜更新しながら、企業の皆様への丁寧な説明に取り組んでいきたいと考えています。

続いて、資料 1 - 3 をご覧ください。「大阪府・大阪市の取り組み」についてご説明します。

大阪府・市の職員については、テレワークの推進、休暇取得の促進等により、通勤者数の削減を進めていくこととしています。

地下鉄中央線の混雑緩和を図ることがポイントのひとつとなるため、咲州庁舎および ATC にある府市の各部局へ通勤する職員については、在宅勤務のほか大手前や淀屋橋の本庁舎等にサテライトオフィスを臨時で確保することで、非常に混雑する会期終盤の 10 月の 2 週間には、通勤者の最大 7 割の削減をめざすこととしています。

あわせて、その他の職場についても通勤削減を図っていくことを、引き続き検討してまいります。

私からの説明は、以上でございます。

(事務局 彌園局長)

ありがとうございました。

続けて、二つ目の議題「先導的取り組みについて」ご説明いただきます。

日立造船(株)さん、ミズノ(株)さん、(株)ロイヤルホテルさんの順番でお願いします。

(2) 先導的取り組みについて

(日立造船株式会社)

私たち日立造船が考える大阪・関西万博期間中における混雑緩和に向けた施策について発表させていただきます。

会社の概要については資料に記載しておりますが、本社所在地が大阪市住之江区、最寄り駅がコスモスクエア駅、本社勤務者数は約 1,800 名おります。

本社は万博会場までの鉄道ルート上にある咲州にございまして、ピーク期間中は多大な交通渋滞が予想されるため、以下の取り組みを推し進めてまいります。

まず人の流れに関する取り組みについて、1つ目が在宅勤務の活用。2018年4月から当社に多様化する働き方に対応し、かつ生産性を向上させる仕組みとして在宅勤務制度を導入しております。2021年7月には対象者を役職員全員にまで拡大する制度改正を行い、現在では週4回まで在

宅勤務が可能となっております。今後、リモートワークの設定や出勤率の設定など調整してまいります。

続いて、フレックス勤務の活用。当社についてはコアタイムのないスーパーフレックス制を採用しておりますが、オフピーク出勤を推奨することで通勤ラッシュ時の混雑を緩和します。

3つ目が WEB 会議の活用。各事業所から本社への出張を極力控え、オンライン会議を積極的に活用することにより、出張による時間やコストを削減し、効率的な事業運営を行ってまいります。

続いて、物の流れに関する取り組みについて。日常的に社用車の出入りがございますが、使用頻度や時間の変更により交通渋滞の緩和を目指します。そのほか、宅配便や廃棄物収集者、売店等の配送車など、さまざまな車両の出入りが日常のございですが、それらの配送、集荷の回数を削減したり、日時に余裕を持たせた利用を進めてまいります。

当社は、これらの取り組みを通じて、万博期間中の交通渋滞の緩和に努めるだけでなく、働き方改革を推進し、職員一人一人の働きやすさを向上させるとともに、持続可能な社会の実現を目指してまいりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

(ミズノ株式会社)

弊社の大阪・関西万博期間中の交通緩和の取り組みについてご説明させていただきます。

弊社は日立造船様と近くの南港のほうにございますコスモスクエア、トレードセンターが最寄り駅で、約 1,200 名が勤務しております。先ほど、事務局の方や日立造船様からもお話がありましたとおり、我々もテレワークを制度化して、今浸透を図っております。コロナ禍は試行期間ということで試行しておりましたが、この 10 月に制度として確立いたしまして、社員、契約社員、パートナースタッフに対してもテレワークを使えるようにしていております。現在の出勤率は 50~60%ですが、その出勤率はキープしていきたいと考えております。

また、フレックス制度は私たちもコアタイムを設定しておらず、どの時間でも勤務できるという形をしておりますので、時差出勤を推奨しております。

また、最も混雑が予想される期間については、推奨される通勤経路の迂回といったところも社内でのアナウンスを実施していきたいと思っております。

また、弊社では先のシーズンの商品を展示してご注文をいただくという展示会を行っております。過去は南港のイベント会場をお借りしてたくさんの人をお呼びして一堂に見ていただくというような機会を作っておりましたが、コロナの期間中に自社の建物の中で実施するというところを行い小規模な展示会にし、来社する時間をコントロールすることで人数の制限を行ってまいります。こういった取り組みを継続していきます。

こういったことにより少しでも交通緩和に協力できるように取り組んでいきたいと思っております。引き続きよろしくござい致します。どうもありがとうございました。

(株式会社ロイヤルホテル)

弊社の基幹ホテルである中之島のリーガロイヤルホテル大阪にて実施を検討している TDM への取り組み内容をご説明させていただきたいと思っております。

まず初めに人流への取り組みについてご説明申し上げます。

リーガロイヤルホテル大阪には 1,039 室の客室のほか、最大 2,000 名を収容可能な宴会場、数多くのレストラン等、さまざまな施設がございます。これらの施設を運営するために 1300 名を超えるスタッフがホテルに従事しており、2025 年はさらに多くの人手が必要となることが予想されています。会期中、多くの現場スタッフがピークタイムに集中することを避けるよう、出勤時間等々のシフトコントロールによる通勤時間の分散を検討しております。また、弊社はコロナ禍中、事務職員のテレワーク化や社内会議のリモート化に着手しております。現在は制限を解除しておりますが、万博会期中は事務職員のテレワーク比率を再度上昇させ、社内会議をリモートにて実施することを想定しております。ホテルをご利用いただくお客様に対しても、会期中の交通情報をホテルより提供し、公共交通機関の利用推奨を案内してまいります。

続いて、物流への取り組みについてご説明致します。

こちらは協力会社様のホテル往来頻度を抑制できないかと検討しております。現在、リーガロイヤルホテル大阪では、2025 年の万博開催までに投資額 135 億円規模の大改装を実施しております。本機会に設備を一新することで、万博会期中、設備工事のための交通利用頻度を低減できると考えております。また、食材や飲料、その他運営備品などの発注回数を抑制するほか、SDGs に配慮したエコプランを拡充することで、クリーニングやアメニティの発注頻度を低減できればと考えております。

最後に、企業取り組みとして、ホテル協会を中心とした業界団体に対し、TDM への協力の呼びかけを行ってまいります。同業他社様だけでなく、ホテル運営の関連会社様やリーガロイヤルホテルのテナント企業様に対してもご協力をいただけるよう呼びかけを行ってまいりたいと思っております。弊社からのご説明は以上でございます。

(事務局 彌園局長)

ありがとうございました。

それでは、会長、副会長、委員、協力委員、会長代行の順番に、ご発言いただきたいと思っております。

まずは、会長の吉村知事、よろしくお願い致します。

会長、副会長、委員、会長代行からの発言

(吉村会長)

日立造船(株)さん、ミズノ(株)さん、(株)ロイヤルホテルさん、具体的な取り組みをご紹介いただきありがとうございました。

大事なのは、この期間中、いつ、どこで、どの時間帯が混雑しやすいのかということ、皆で共有することだと思います。メリハリの利いた共有が重要だと思います。午前中にはほぼ 7 割、来場者の流れがピークで来ます。時期的に見ても 6 月、9 月に混雑が予想され、最後の 10 月の 2 週間は非常に混雑します。それ以外はそうでもない時期もあります。場所とすれば、中央線、御堂筋線、ベイエリアになります。

時期と時間とエリアを今回、整理してもらいました。大阪府市も咲洲に庁舎があるので当事者そのものであります。より関係が深い当事者と経済界とが共有し、万博開催時において会場への円滑な輸送と都市経済、都市生活の両立を図っていきたいです。引き続きよろしくお祈いします。

(事務局 彌園局長)

ありがとうございます。続いて副会長である2025年日本国際博覧会協会の石毛事務総長お祈い致します。

(石毛副会長)

大阪府市の取り組みは、大変勉強になりました。3社の企業のみならず、取組事例をご紹介いただきありがとうございます。このような先導的・先進的な取り組みは、他の企業にとって参考になり、TDMの取り組みを広げるうえで、大変大きな力になるものだと思っております。

知事が言われた情報共有に関して、博覧会協会としても、万博来場 MaaS を活用した、万博会場、あるいは、各交通機関の混雑状況の予測を情報提供できるシステムの検討を進めています。府民・市民、企業の皆さんが、TDM の取り組みへスムーズに協力していただけるよう、引き続き、必要な環境整備を行ってまいります。

2,820万人というたくさんの方が万博へ来場することを想定しております。1人でも多くの方に万博へ安全・円滑に来場いただき、楽しい思い出を作ってくださいたいと思っております。引き続き、努力していきます。よろしくお祈いします。

(事務局 彌園局長)

ありがとうございます。

次に委員である関西経済連合会の松本会長、お祈いいたします。

(松本委員)

多くの方々に快適に安全・安心に万博に足を運んでもらうためには、万博開催時の交通行動を企業、一般市民の方に意識的に変えてもらう必要があります。その実現に向けて3点申し上げます。

1点目は、経済団体から各企業への呼びかけです。時差出勤や共同配送の取り組みについて本日3社から早いタイミングで表明いただいたことは大変心強く感じています。このような取り組みを数多くの企業が実践することを期待しております。

関西経済連合会としても、本日説明のあった内容に基づいて、自社の事業活動への影響を抑制する観点でも実効性の高い取り組みを実践していただくよう会員企業などに呼びかけていきます。

2点目は、効果的な情報提供のお祈いです。企業の取り組みを拡大させていくためにはどのような日のどのような時間帯にどのような取り組みが求められているかについて具体的なイメージが湧くような効果的な情報提供が必要ではないでしょうか。関係機関においては、こうした情報をできるだけ早期に提供するとともに、日々更新していただくようお祈いします。

3点目はお祈いになります。今後、経済3団体に所属していない企業や一般市民に対しても、

地元が一体となったプッシュ型での呼びかけが必要になると考えています。誰が責任を持って呼びかけていくのかを明確にして、しっかりと取り組みを進めていただくようお願いします。また、事前の呼びかけや会期中の情報発信には一定のコストをかけたシステムが必要です。現時点でのアイデアがあればお聞かせいただきたいです。

万博の成功に向け、引き続き本日ご出席の皆さんと一致団結して進めていければと考えております。

(事務局 尾植理事)

3点目のコストの部分、呼びかけにも幾何かのコストが必要です。府市でも予算に向けた準備を現在進めているところです。今後議会での議論もあるが、事務局ではそのような段取りを組もうとしているところです。

(事務局 彌園局長)

情報提供をタイムリーにということです。併せて具体的なイメージを持っていただくことも重要です。事務局も取り組んでいきたいと思っています。

それでは、同じく委員である大阪商工会議所の鳥井会頭、よろしく願いいたします。

(鳥井委員)

安心・安全と利便性は最も重要な概念です。3社が発表された内容は先進的・主導的な創意工夫があり、敬意を表します。

こうした取り組みを参考にし、より多くの企業が万博開催時の交通状況に関して理解と協力をいただくことが重要になります。大阪商工会議所としては、3万の会員に対して、機関紙やメールマガジンを通じて、また直接声かけをして情報提供を行ってまいりたいと考えています。

(事務局 彌園局長)

どうもありがとうございました。次に、同じく委員である関西経済同友会の宮部代表幹事どうぞよろしく願いいたします。

(宮部委員)

万博期間中の交通円滑化の確保は万博来場者のためだけでなく、大阪の企業活動の維持にも大変重要と思っています。関西経済同友会としても、具体的な施策の検討、提案をしていきます。

開催期間が長いイベントになります。現時点でも混雑度が予測されているが、万博会期中も交通機関の混雑度予報、週刊予報、明日の予報などが出てくると日々の企業活動に反映できるのではないかと思います。

コロナでテレワークが進んで、コロナ後も定着している会社もたくさんあります。さらに在宅率を上げることに限界がある可能性もあります。したがって、もっと踏み込んだ取り組みが必要となった場合には、例えば混雑地域以外の自社拠点に業務を一部この時期は回すなど、そういったことも必要かもしれません。

2019年度、コロナの前と比較して交通量が減るということではなく、2024年度と比較して2025年度を減らさないといけないということです。スタート点が違うという感覚で踏み込んだ検討が必要だと思います。

(事務局 彌園局長)

ご指摘、ご意見ありがとうございます。その点を含めて取り組みの検討を進めていきます。続いて、同じく協力委員である国土交通省近畿経済産業局の信谷局長お願い致します。

(信谷協力委員)

万博の円滑な運営と大阪関西経済の活力の維持の両立が非常に大事だと思っています。そのためにはより多くの方が万博 TDM パートナー制度に登録し、早めに対策を検討していただくことが大変重要だと思っています。近畿経済産業局としては、この制度の周知、参加の呼びかけを徹底していきたいと思っています。

(事務局 彌園局長)

ありがとうございました。続いて、同じく協力委員である国土交通省近畿地方整備局の見坂局長お願い致します。

(見坂協力委員)

近畿地方整備局としては交通円滑化を下支えするための交通インフラ整備をしっかりと進めてまいりたいと思っています。私は2021年の東京オリンピック・パラリンピックのTDMにも携わらせていただきました。TDMを実施するためのポイントとしては、いかに早く協力を呼びかけるかということだと思います。今日3社にプレゼンをいただいたが、企業活動においても、2～3カ月前に言われても急に準備はできません。半年前、1年前から準備をされると思います。いかに早くTDMの呼びかけを企業の皆様方、府民、市民の皆様方に呼びかけていくのかということがポイントになってくると思っています。

近畿地方整備局としても、建設業団体をはじめいろいろな団体との会合が多数あります。早め早めに大阪・関西万博に向けてのTDMの取り組みの呼びかけをしていきたいと考えています。

(事務局 彌園局長)

ありがとうございました。続いて、同じく協力委員である国土交通省近畿運輸局の日笠局長お願い致します。

(日笠協力委員)

万博の成功は、多くの来場者の来訪ということで公共交通の混雑も予測されます。オーバーツーリズムの典型的な課題でもあるので、あらかじめTDMの対策を講じておくことは、大変重要だと考えています。そのためには適時適切な情報共有が大変大事です。今回作成されたリーフレ

ットは非常にわかりやすいです。わかりやすい情報提供を随時やっていくようお願いしたいと思っています。特に万博は半年にわたるのでイベントとしては長期ですので、混雑する期間の認知度をいかに上げていくか。これを継続的、段階的にやっていただくことかと思っています。

今回、鉄道、バス業界の代表の方がいらっしゃいますが、しっかり協力しつつ、また我々は物流など他の所管する業界があるので、こういう業界にもよく周知をしながら必要な協力をしてまいります。

(事務局 彌園局長)

ありがとうございました。続いて、同じく協力委員である関西鉄道協会の原会長お願い致します。

(原協力委員)

関西鉄道協会としても、所属会員、各社局に、万博開催中の交通混雑緩和に向けた取り組みに対する理解、協力を促し、円滑な万博来場者輸送と都市活動の両立を目指して、鉄道事業者としてできることを積極的に取り組んでまいります。

併せて、鉄道アクセスルートの想定混雑路線はもとより、各エリアの鉄道ターミナル等からの輸送に関しても、ハード・ソフトの両面から対策をしっかりと実施して、お客様を安全・快適に会場までお運びできるようしっかりと取り組んでまいります。

既にご検討いただいているが、復路の輸送に関しても、現在我々が持っている情報ではいささか心配しているところもあります。このあたりについても情報提供いただきたいです。

万博の成功に向け、協会としても精一杯取り組んでいきます。

(事務局 彌園局長)

ありがとうございました。続いて、同じく協力委員である近畿バス団体協議会の井波会長お願い致します。

(井波協力委員)

バス事業者の立場から道路交通の円滑化という観点で2点ほどお願いしたいです。

まず1つは、生活者、また事業者の方を含めて自動車のご利用を開催期間中はできるだけ抑制していただきたいです。道路が混雑すると、現在、私どもが予定している駅からのシャトルバスの運行がダイヤ通りにいかないと、想定した輸送量が確保できずに、例えば乗り場側の駅で多数の滞留のお客様が発生する、あるいは臨時に追加的にバスを調達・手配するという事で、追加的なさまざまなコストが発生してくるということがあります。そうした結果、安全・円滑な輸送が著しく困難になります。かつ、渋滞は事故のリスクを高めることにつながります。一旦事故が発生すると、輸送経路だけでなく、面的に混雑・混乱が広がり、社会生活また事業活動に大きな影響が出てくることにもつながります。自動車の利用をできるだけ抑制していただく方策に取り組んでいただきたいです。

もう1点は自動車交通の特性から、特に混雑する日、時間帯に関しては、できる限り公共交通

機関の利用をお願いしたいです。車両が互いに道路空間を占有しながら輸送するのが自動車交通です。空間に対してできるだけ多くのお客様をお運びすることが全体としての渋滞の発生を抑制することにつながると思います。

貸し切りバスなども直接寄りつける方向で今検討を進めていただいていると聞いているので、バス、鉄道のご利用を積極的に進めていただきたいです。来場者の皆様を安全・円滑に輸送できるよう精一杯、バス団体協議会挙げて取り組んでいきます。

(事務局 彌園局長)

ありがとうございました。最後に、会長代行である横山市長をお願いいたしたいと思います。

(横山会長代行)

年末のお忙しい時期にお集まりいただき感謝申し上げます。また、日立造船様、ミズノ様、ロイヤルホテル様、先進的な取り組みをありがとうございます。大変重要な取り組みです。しっかり共有できるようにしていきます。

万博の期間中は1日当たり22.7万人の来場が予想され、大変混雑が予想されます。そのため、6カ月間ずっとではなく、特定の期間や時間帯などをわかりやすく企業の皆様に発信して協力を求めていくことが大事だと思います。

皆様から大変貴重なご意見をいただきました。早めの発信が重要というのはごもっともです。今日決まればインターネットに載ってくるという理解でよいですか。リーフレットだけでなく、こちらから発信したほうが良いと思うので、府市のホームページやTwitterでこの資料を貼りつけて、1度や2度発信するだけでなく、同じ内容であっても何度もしつこく発信することが大事だと思います。情報発信はよろしく願います。

期間中、ホームページで週間混雑予報、月間混雑予報など混雑予報をわかりやすく記載することも非常に有効な手です。ぜひ検討していただきたいです。

できるだけ早く、わかりやすく皆さんにご協力をお願いしていきます。企業の皆様のお力添えがないと前に進みませんので、企業、市民、府民、大阪に来られる皆さんがわかりやすく情報を得られるように発信をしていきます。引き続きよろしく願います。

(事務局)

これで、皆様からのご発言は以上となりますが、そのほかご意見、ご質問はございますか。

(松本委員)

情報を流すということだけでなく、道路が通行止めになる可能性もあるので我々だけで検討を行うのではなく、警察とも連携する必要があるのではないのでしょうか。

(事務局 尾植理事)

道路でいうとシャトルバスのルートの円滑な交通流を確保するということが発想としてはあります。その対象となるのは、シャトルバスのルートが1つと考えています。5回の幹事会の中に

は。大阪府警察本部の方にも議論に参加していただいています。しっかり交通管理者と連携して進めていきたいと考えています。

(事務局 彌園局長)

積極的な情報発信、情報共有が肝だと思います。引き続き幹事会で議論を深め、具体的な取り組みを進めていきます。引き続きよろしく申し上げます。

それでは、以上をもちまして、2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（第2回）を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上